

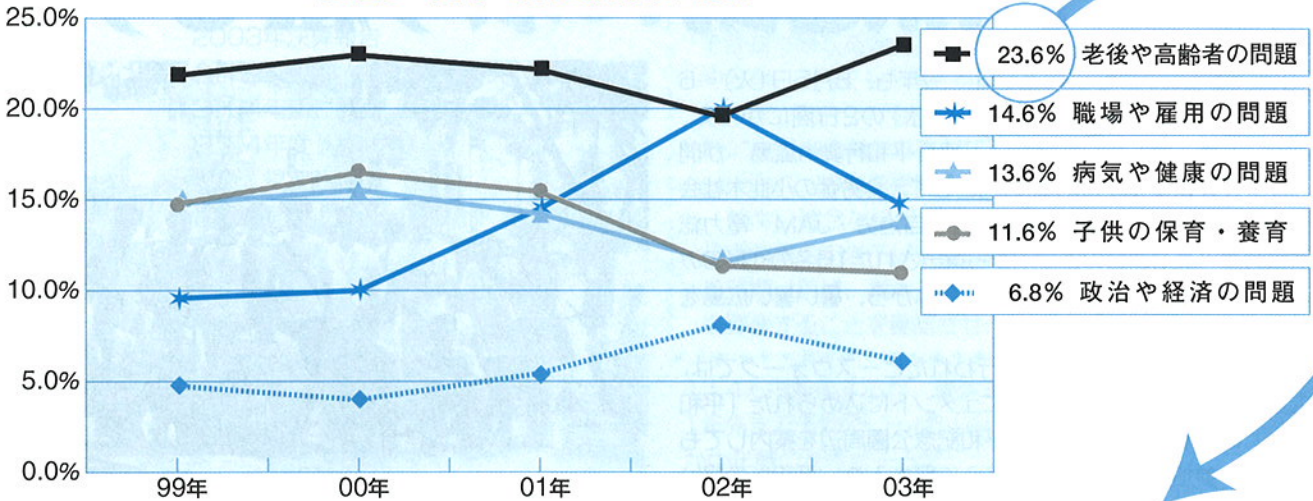
県民意識調査 ただいま分析中!



連合群馬は毎年、県民ニーズに沿った活動をしっかり展開するため、県民意識調査をおこなっています。いま一番困っていることは？ 将来に何を望んでいるのか？ 生活や仕事、政治や経済、社会保障制度、環境等々さまざまな角度から設問を組み立てて調査しています。

今年の調査は、産別・地協・議員懇談会、各連携団体を通じて、3,745名もの方々の協力を得ることができました。

過去5年間・県民意識の推移

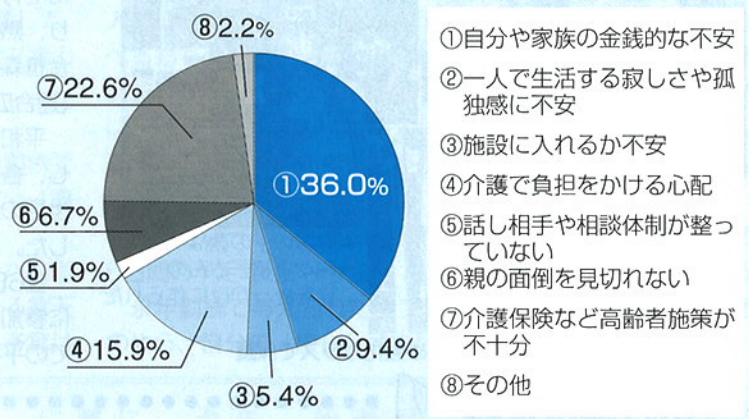


今年の調査では、昨年まで急激に増えていた「職場や雇用の問題」への不安がやや落ち着き、自分や家族の「老後や高齢者の問題」への不安が、過去5年間で一番多い23.6%になりました。

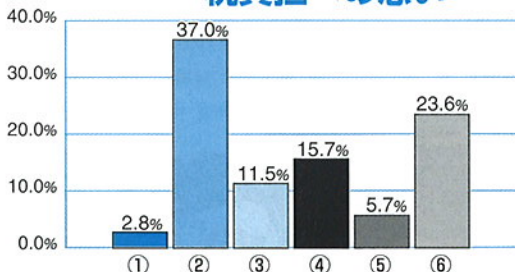
その事をなぜ心配に思うのか？との問いに対しては、「自分や家族の金銭的な不安」が36.0%、次いで「介護保険など高齢者施策が不十分」が22.6%、「介護が必要となり、負担をかけるのが心配」が15.9%という結果になりました。こうした背景には、長引く景気の低迷による所得の減少や、年金・医療などの社会保障制度問題の深刻化があると思われます。

また、県や市町村が取り組む施策には、税金が活用されていますが、財源が厳しくなる中で、どう思うか？を伺ったところ、これ以上の負担は我慢できないとの声が4割近くを占める結果となりました。

なぜ心配に思うのか？



税負担への思い



- ①より良い施策を希望するので、高負担もやむを得ない
- ②県財源の範囲の施策とし、これ以上の負担は困る
- ③もっと施策を減らし、負担も減らしてもらいたい
- ④子育てや福祉など希望する施策を本人が選択できる制度確立
- ⑤全国平均より遅れている施策の早期実現
- ⑥地域・独自性を発揮した、メリハリのある施策の推進

現在、調査結果の詳細分析を行っています。県民ニーズに基づく「政策・制度要求と提言」を策定し、安心して暮らせる群馬県の実現に向けた取り組みを展開します。

県民意識調査にご協力いただいた多くの方々に、紙面をかりて感謝申し上げます。ありがとうございました。